

# 地域経済を支えるパートナーとして

2003年6月13日に地元中小企業、大阪府立大学、(株)さかい新事業創造センター(堺市のビジネス・インキュベーション)と連携し、「だいしん産学連携共創機構」を創設しました。当金庫が大阪府立大学へ常駐派遣している「産学官連携コーディネーター(株)だいしん総合研究所スタッフ1名)は、大阪府立大学とのスムーズな橋渡しにより、数多くの課題解決や新商品開発に貢献しています。

2019年5月27日には創業100周年記念事業の一環として大阪工業大学と包括産学連携協定を締結し、「産学官連携コーディネーター(株)だいしん総合研究所スタッフ1名)を新たに常駐派遣しており、同大学の強みである「知的財産」や「デザイン」の分野においても課題解決に繋がるソリューションを提供することが可能となっています。

また、これまで産学官連携コーディネーターを担当した4名の職員は専門的な課題にも対応できるスキルを有し、レベルの高い事業性評価のできる人材となっています。近年は、地方独立行政法人大阪産業技術研究所や大阪府立環境農林水産総合研究所との連携が始まり、専門的なスキルの幅が広がっています。

## 産学官連携を利用した事例のご紹介

### 「大阪府立大学」との技術アドバイザー契約を活用したお手伝い

A社は、認知症抑制効果が見込まれるプログラムを開発しました。そこで、利用者の方にどれだけの効果が見込まれるか、また、介護施設等の実施側スタッフと利用者とのコミュニケーションツールとなるのか、その評価方法についてご相談がありました。そこで、大阪府立大学の現代システム科学域で高齢者ケア・アセスメントに知見をお持ちの先生へ相談し、技術指導契約を通じたアドバイスを受けながらこのプログラムの更なる発展を目指しています。



### 「大阪工業大学」へ工程管理システム構築へ向けた相談

歯車や歯車関連部品を製造・加工するB社は、長年蓄積した加工データを工程管理に活かす方法がわからず悩んでいました。そこで、大阪工業大学が持つ知見を活用して生産工程のボトルネックを把握し、納期遅れや運転資本を低減させるためAIを使った独自の生産工程管理システムの構築を目指しています。



## 「ラボツアー」をきっかけにした相談事例のご紹介

当金庫では、大阪産業技術研究所(以下、「大阪技術研」という。な)並びに大阪府立環境農林水産総合研究所(以下、「環農水研」という。)と包括連携協定を締結し、取引先中小企業向け「ラボツアー」を定期的開催しています。

ここでは、「ラボツアー」をきっかけにした具体事例を紹介します。

大阪府立  
環境農林水産総合研究所



地方独立行政法人  
大阪産業技術研究所

### 「環農水研」の受託研究制度を活用して商品開発

B社は、「環農水研」から大阪産(もん)の取得に向け常温商品の開発に向けて技術支援を受けています。同社は、ラボツアーへ参加し、研究所にあるレトルト加工機等各種加工機を見学して、商品化に向けた開発について相談し、現在、受託研究制度を活用して加工機器等を利用した開発を進めています。



### 「大阪産技術研」での耐久性試験データ取得

金属加工を行うC社は、取引先の廃業に伴い、使用する木型の加工業者がなくなり困ってました。他社に発注してもコストがかかるため内製化を検討。そこで、木型の3D形状データが必要であり、ラボツアーに参加しデータ取得の相談をしました。

その結果、データ取得に問題はなく、費用についてC社の意向を伺いながら進めることとなりました。



### これまでの活動実績(2020年3月末現在)

会員事業所数	948先				
技術相談	443件	他大学等との共同研究	3件	会員間ビジネスマッチング	205件
共同研究	31件	地方独立行政法人大阪産業技術研究所 大阪府立環境農林水産総合研究所の紹介	267件	他大学等への技術相談	31件
奨励寄付研究	34件	大阪府立大学と顧問契約	8件		

